

## ケアマネジャーと多職種向け

# 「望む生活・暮らしの意向」から始める 対話と ACP の研修会



## 開催趣旨

今年 8 月、北見地域介護支援専門員連絡協議会等の協力を得てケアマネジャーを対象に、ACP への取り組みづらさについて調査を実施しました。その結果、35.8%の介護支援専門員が ACP を実施していることが分かりました。また ACP を開始すべき時期について 61.5%の介護支援専門員が「健康なうちから」と回答しました。この結果から、終末期など切羽詰まった時期はもとより、比較的安定した病期において「今後の生活の意向」といった ACP のなかでも比較的初期の段階での「対話のあり方、方法」を介護支援専門員が知ることが、ケアプランの立案も含めて ACP の推進に有効ではないかと考えました。そこで適切なケアマネジメント手法の基本項目で提示されている「望む生活・暮らしの意向の把握」というケアマネジャーが実施する課題分析項目を基礎とした面接や対話の方法を学ぶ研修会を開催いたします。

- **日 時**：令和 6 年 **12 月 13 日(金) 15:00～16:30** (90 分)
- **場 所**：北見市役所 5 階 505 会議室・入札室【参加費無料】
- **対 象**：北見市、訓子府町、置戸町、美幌町、津別町の北見在宅医療圏域における在宅・施設の介護支援専門員と、ACP に取り組む多職種等
- **参加者数**：会場 40 名 + オンライン 100 名(会場参加を推奨いたします) 先着順で締め切ります
- **実施主体**：北見市医療・介護連携支援センター、北見地域多職種連携チーム(北見市、訓子府町、置戸町、美幌町、津別町)、北見赤十字病院、北見地域介護支援専門員連絡協議会
- **内 容**：
  - **ケアマネジメントにおける ACP の取り組みづらさ調査結果報告(10 分)**  
講師：北見市医療・介護連携支援センター 関 建久氏
  - **比較的安定した病期における ACP の取り組み(15 分)**  
講師：北見赤十字病院 外来看護管理室 看護師長  
慢性疾患看護専門看護師 寺山 葉子氏
  - **本人の意向から将来の医療・ケアに対する意思決定する取り組み実践(15 分)**  
講師：北見地域ケアプラン相談センター 管理者 平林 美奈子氏
  - **健康な時期における対話・ACP の方法【演習】(50 分)**  
病状が安定している時の ACP 開始について、ケアマネジャーが実践しやすい対話の方法、対話内容の記録方法と他機関・他職種への伝達方法について事例を基に学びます。
- **申し込み**：以下の URL または右記の二次元バーコードよりインターネットにてお申込み下さい  
(締め切り 12/6 まで) ↓ にカーソルをあてて **ctrl** キーを押しながらクリックしてください  
<https://forms.gle/pKXJ7x8xZ56ejVmz7> (Google フォームが開きます)
- **お問い合わせ先**：北見市医療・介護連携支援センター(担当：関) TEL 0157-51-1244

